



大阪空港 9 時 30 分集合。8 名の大阪メンバーは案外早く集まる。理事長および理事さんたちのお見送りで、まず羽田へ。結団式と予定より少々過ぎて 5 時前、羽田を離陸。熱い空港から雲の上へ、いつまでも続く雲海の上を一路アメリカへと...

11 時過ぎ、辺りが夕闇みに包まれ夜らしい感じ。それが早や 3 時間位で夜明けとなる。7 月 2 日の夜明け、つまり 7 月 2 日という日のやり直しのスタートとなる。まず日付変更線で時差を調整してアメリカに慣れることにする。中には日本時間の時計をながめて日本をなつかしがっている者もい

た。

アメリカ本土が見えるようになってまもなくサンフランシスコ空港に無事着陸。

まず第一印象はスケールの大きな国...

空港、公園、有名なゴールデンブリッジ
広い道路...。アメリカの国旗である星条旗
がいたるところで目にとまる。官庁ではカ
ルフォルニアの州旗も合わせて立っている
のが印象的だった。

それに案外と古いものが大切に使われて
いることだ。古い木造の家、自動車。レン
タル会社の機械も案外古いもののウエート
が高いように思われた。



現地での筆者（左から2人目）
使えるものは修理または改良しており、
われわれアメリカナイズされ、使い捨てを
美德とする者には考えさせられるところだ

った。あるリース会社の新しい機械は、わ
れわれがくるがために、わざわざ持ってき
て飾ってあるような感じもした。

また、修理工場およびテスト設備、機械
部品倉庫、営業所内の事務のシステムの完
備はわれわれ学ぶところではないかと思

われた。

ロスアンゼルスでは同業者も多くあり、
ダンピング問題も話し合いに出ていたが、
結局、安い値段では完全なサービスができ

ないので、そのような会社はつぶれるだろ
うと案外強気の発言があった。

営業時間については、ある会社の社長は
わが社の営業マンは月曜日から金曜日まで
だとオーバーな表現の返答であった。中に



視察団一行のため大いにデモンストレーション
は朝6時30分から夜9時という営業時間の
看板をかけた会社もあり、営業時間はわれ
われの予想を越えるようだ。

サンフランシスコからロスアンゼルス
の視察には全米のアソシエーションのメンバー
の方、リース会社の社長が同行され、いろ
いろと質問によく答えられ、また進んであ
れこれと説明を受けることができた。ただ
招待の昼食会での討論会では通訳の意味の
わからないところがあったほか時間が少な
く、もう少しという感じがした。

今回の視察を通じて全般に感じたことは、何
ごとも合理的な国であるということ、たとえば
- 人の運転手がトレーラーを動して、そのうし
るにフォークリフトを索引して走り、また一人
で積降しのできるウインチ付きの車。なんでも
索引して走るところに、余り人の手をかけな
いようにという合理的考え方がうかがわれた。